

おかざき

市政だより

1992❖1月1日❖No.703



「竜ヶ城」とも呼ばれる岡崎城。
その昔、この山に竜神が住み、
城が築かれるとその守護神となり、
敵が攻めてきた時は、
必ず黒雲で城を覆って守った
と伝えられています。

朝焼けの岡崎城

家康公がこの城に産声をあげた時も、
竜神が現われて天に舞った
という伝説があります。
今年の家康公生誕四百五十年。
あらためて「ふるさと岡崎」を
見つめてみたいものです。



カレンダー 1月1日～31日

1/1・水	元日、新年交礼会(中央総合公園内武道場、10:30～)
2・木	
3・金	新春乙川マラソン(殿橋下流乙川河川敷、10:00～)
4・土	御用始め
5・日	
6・月	小寒
7・火	
8・水	
9・木	
10・金	
11・土	市役所土曜閉庁日、鏡開き
12・日	消防出初式(殿橋下流乙川河川敷、10:00～)
13・月	
14・火	
15・水	成人の日、岡崎市成人式(総合体育館、11:00～)
16・木	
17・金	
18・土	
19・日	
20・月	大寒
21・火	学校体育賞授賞式(中央総合公園内武道場、15:00～)
22・水	
23・木	
24・金	
25・土	市役所土曜閉庁日
26・日	交通安全第43回岡崎市民駅伝競走大会(六名公園、9:30)
27・月	
28・火	
29・水	
30・木	
31・金	

■申年…今年(ことし)は申年。動物の中で最も人間に近いといわれるサルは、昔から日本人に親しまれてきました。だれでも一度は読んだことのある「桃太郎」や「サルカニ合戦」などの昔話でもおなじみですよ。ちなみに岡崎市内の申年生まれの方は、24,083人です。(12/9現在)

■正月の遊び…お正月には楽しい遊びがたくさんありました。冬の寒さなんかおかないしに、元気に凧あげをしたり、こまを回したり、着物姿で羽根つきをする姿があちこちで見られました。そんな姿が年々減っていくのは寂しいものです。今、おかざき世界子ども美術館では、なつかしいこまを紹介する「世界と日本の独楽展」が開かれています。昔の遊びの良さを子どもたちにも伝えるよい機会ではないでしょうか。

■成人式…市内の新成人は男性2,870人、女性2,754人の合計5,624人。昨年より300人程多くなりました。今年は中央総合公園内の総合体育館に会場を移し、21世紀につなぐ夢の公園で、次代を担う若い皆さんの門出をお祝します。

目次

夢広がる私たちのまち	3
新年のごあいさつ	4～7
まちの特派員だより	8
家康寸話	9
よもやま日記	9
市民の広場	10～11
「声」「人」「温故知新」など	
お知らせ	12～14
みんなでつくる快適環境	15
市民駅伝競走大会	16

市政だより「おかざき」は再生紙を使用しています。



1992

夢広がる私たちのまち

新しい年、平成4年の幕開けです。まだまだ遠い未来と思っていた21世紀も、もうすぐそこにやってきました。21世紀には私たちはどんなまちに住み、どんな暮らしをしているのでしょうか。とても大きな夢が広がります。そんな私たちの将来、そして現在の暮らしを見つめ、市では今年も、「明るく、住みよい、豊かなまちづくり」を皆さんとともに進めていきます。



新年のごあいさつ



市長

中根 鎮夫

明けましておめでとございます。
謹んで市民の皆さまのご清福とご繁栄
を心からお祈り申し上げます。

さて、二十一世紀を間もなく迎えるよう
とする今日、時代の変遷と価値観の多様
化に伴い、市政におけるさまざまな対応
と施策が求められるようになりました。

このような中であって、私は市長に就
任以来十一年余、「明るく、住みよい、
豊かな岡崎市」を都市像として、その実
現に全力を尽くしてまいりました。この
間、三河武士のやかた家康館、岡崎公園
の茶室や二の丸能楽堂、おかざき世界子
ども美術博物館などの芸術文化施設の建
設を始め、矢作北・新香山・竜南・北中
学校や上地・小豆坂・北野・常磐東小学
校などの新設、学区こどもの家や市民ホ
ームなどのコミュニティ施設の配備、
J R西岡崎駅の設置、六十年余の懸案で
あったJ R岡崎駅の自由通路と橋上駅舎
の実現、更に高年者センター岡崎、中央

クリーンセンター、花園工業団地、勤労
文化センター、道路整備、河川改修など
都市基盤の充実に努めてまいりました。

現在、建設省の選定による「うるお
い・緑・景観モデル都市」として、三十一
万市民の皆さまの格別なご理解を賜りな
がら、第四次岡崎市総合計画の「二十一
世紀を拓く活力と創造のまちづくり」に
向けて、市政運営も順調に進んでおりま
すことは、このうえない喜びであります。

昨年における主な事業としましては、
本市の最大プロジェクトである「岡崎中
央総合公園」に、待望の「市民球場」の
ほか、体育館・武道館・錬成道場・エン
トランスホールの四棟からなる「総合体
育館」が完成し、スポーツ西ゾーンの諸
施設を始め、文化ゾーンの一翼を担う美
術博物館収蔵庫棟の建設に向けて準備も
進めています。また、福祉施策について
は、在宅家庭奉仕員を三十名から九十五
名に増員するとともに、公的有料老人ホ
ームの年金者住宅「ゆとりの里」、お年
寄りや障害をもつかがたの生きがい工
場「花園高齢者生きがいセンター」、精
神薄弱者授産センター「のぞみの家」が
開所いたしました。そして、老人クラブ
への助成の拡大や老人性白内障の手術費
補助など、きめ細かな施策も進めてま
いりました。

一方、郵政省のテレトピア構想のモデ
ル都市として、CATV（ケーブルテレ
ビ）の活用による行政情報等の提供を行

い、第三セクターの西三河ニューテレビ
放送（MICS）を支援し、サービスイ
リアを南部地区にも拡大し、地域の情報
化を前進させました。また、都市景観環
境施策の一環として、私たちの生活に潤
いを与えてくれる緑を守るために、「ふ
るさとの森」や「ふるさとの名木」を指
定し、その保存を図ることにいたしました。
そのほか、河川浄化や生活排水対策
の促進、J R岡崎駅西広場のシンボルモ
ニュメントの設置など、魅力ある快適な
都市の創造を目指すさまざまな施策を展
開いたしました。

国際交流につきましては、友好都市の
呼称特許市に消防自動車と救急車を贈呈
したのを始め、姉妹都市のニューポート
ビーチ市、ウッデバラ市とも市民レベル
の交流が活発に行われ、おかざき世界子
ども美術博物館では、フジモリ大統領の
来日を契機に、ペルーの子供たちとの絵
の交換を通して、国際理解を深めること
が出来ました。

現在進めている主な事業といたしまし
ては、複合空間基盤整備計画として、情
報の拠点「ハイコンプレックス21」構想
を始め、康生地区内の各施設を空中遊歩
道で結び、地下空間の利用と各駐車場の
ネットワーキ化をはかる回廊構想の具体
化を進めております。そして、歴史の拠
点「岡崎城址公園」についても「愛知の
ふるさとづくり事業」として、城壁や大
手門、更に下水道の処理水を活用したユ

■ 新年のごあいさつ

ニードな堀やせせらぎ、散策歩道などの整備をしております。また、東岡崎駅周辺については、乙川を活用したりパークロント（快適な河川空間）構想の検討や駅南線の整備を進めるとともに、JR岡崎駅東についても整備に向けて土地区画整理事業を開始いたしました。そして、国や県で進められている国道一号田町・八帖地区の環境整備事業や岡崎大橋の架橋工事も年度内には完了する見込であり、本宿地区の国一拡幅工事も名鉄の高架化が完成する夏過ぎには着手の予定であります。

教育面では、市制六十周年記念事業として着手された「市史編纂事業」の全二十巻刊行も間近となりました。また、六ツ美中学校の過大規模校解消のため分離新設する六ツ美北中学校の新設工事も順調に進み、本年四月には開校の運びであり、矢作北・北野・連尺・男川小学校舎の増改築等を進め、教育環境の整備に全力を上げております。そして、「学区こどもの家」も子供の健全育成と市民のコミュニティの場として、新年度内には全学区に整うよう、鋭意完成を目指しております。また、大学設置についても先の大学設置検討百人会議の結果を踏まえ、実施に向けて対処してまいります。

環境衛生対策としては、建設中のし尿処理施設の年度内完成を図るとともに、不燃物立施設の整備、八帖クリーンセンター焼却場の更新、ごみ減量及び資源再利用の推進、リサイクル施設建設

のための調査、合併処理浄化槽の普及などを図っております。

産業の活性化については、東部地区と葵地区の両工業団地の開発を進めております。また、「農業バイオセンター」については、その一翼を担う「きのこ培養施設」が完工し、今後その他の施設についても逐次建設を進めてまいります。

そのほか、「三世代宅地供給事業」については、夏以降の分譲を目指して造成を進めており、市立岡崎病院の移転新築、福祉活動の拠点となる新福祉会館の建設、

市庁舎立体駐車場やエスカレーターの設置、六名地域の浸水防止対策として「六名貯留池」の築造など、市政全般にわたって「健康・活力・創造」をモットーに魅力あるまちづくりにまい進してまいります。

終わりに、本年は徳川家康公生誕四百五十周年の記念すべき年にあたります。郷土の生んだ偉人をしのぶ諸事業を展開しながら、観光岡崎の歴史と文化、更に自然を楽しんでいただく年にしたいと思います。



年頭のごあいさつ



市議会議長

岡村 秀夫

明けましておめでとございます。
年頭にあたり市議会を代表し、謹んでごあいさつを申し上げます。

昨年ほど、茶の間のテレビで世界情勢の移り変わりを刻々と身近に感じた年は無かったかと思えます。二十一世紀を間近に国際化のうねりは急速となり、ますます情報的重要性が問われ、また高齢化社会への進展等により、生活環境や物の考え方の変化が新しい社会へと変貌しつつある今日、地方自治行政を取り巻く情勢は一層厳しく、交通事故の多発、公害環境の問題等と、ますます多様化する行政への需要に適切に対応することは、従来にも増して重要となつてまいりました。

このような状況の中で、私たち議員一人一人は市民の皆さんとともに考え、多くのご意見を賜り、市政に反映させ、地域の特色を生かしつつ、魅力ある都市づくりを強くおしすすめなければなりません。

本年は、家康公生誕四百五十年を記念し、多くの行事、事業がすすめられます。市民

の皆さんのご意見を十分拝聴し、皆さんと一緒に家康公の偉業をしのび、諸行事を展開し、これを契機として、さらに本市の発展につなげるとともに、家康公の平和への祈念を新たにしないでほしいと存じます。

また、中央総合公園は、市民待望の市民球場、総合体育館が完成され、さらに文化施設へと建設が進んでまいります。市立岡崎病院は、市民の皆さんのニーズに答えるため、新病院建設へと動き出しております。これらの諸施設に対して、市民の皆さんのご意見をいただき、すすんでまいりたいと考えます。

幸いにして、本市は西三河の中核都市として、諸先輩が築いた輝かしい歴史と文化、豊かな自然があります。これらの有形無形の資源を十分生かし、地域産業の振興、商工業の活性化、交通、教育、市民福祉の向上のため、より効率の高い行財政の運営をすすめる、市民の安全、健康、文化、諸施策の充実を図り、心豊かな活力ある「明るく、住みよい、豊かな岡崎市」「誰もが住みたくなる岡崎」の建設を目指して、まい進しなければなりません。

市議会は、従来以上に現況と社会の動向をしっかりと把握して、多くの市民の皆さまの英知をいただき、常に一体となって諸事業を推進し、議決機関としての使命を果たしてまいります。

どうか本年も格別なご理解をお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

新春を迎えて



県知事

鈴木 礼治

県民の皆様、あけましておめでとございます。

県政が皆様のご理解を得て、着実に前進しておりますことを厚くお礼申し上げます。

新しい年は、二十一世紀へしっかりと橋渡しをしていくため、新たな段階を迎えている中部新国際空港や万国博覧会を始めとする大規模プロジェクトはもとより、幅広い県民福祉の向上を図っていくための様々な事業を具体的に軌道に乗せていく年であります。物と心の両面にわたって地域の総合力をさらに高めていくため、引き続き積極的な県政運営を図ってまいりたいと存じます。

特に、本格的な高齢化社会への対応は急務と考えており、そのため、国立長寿科学研究所医療センター（仮称）を核とする「あいち健康の森（仮称）」の整備推進や、がんセンター・県立病院の大幅な機能拡充、県立各種福祉施設の充実整備、在宅福祉サービスの充実強化を図ってま

明けましておめでとうございます

市議会議員一同



河合 信輝	加藤 繁行	加藤 明子	小野 政明	奥村 昭司	岡村 秀夫	岡田 満	岡崎 富雄	大久保 正	伊奈 秀兼	伊藤 文治	和泉 富郎	荒木鉄之助
中根巳代治	中根 義一	鳥山 満	徳田 孟	都築 末二	鈴木 雅美	鈴木 擴	柴田 元良	柴田 隆弘	澤 豊	佐伯 恒教	近藤 隆志	木全 昭子
米津 春治	村松 武	三島栄太郎	三浦 元	柵木 誠	前田 正己	細井 幸彦	福尾 正	尾藤 輝夫	八田 二郎	成田 栄治	永田 寛	長坂 光雄

(五十音順)

まいります。

また、質の高い心豊かな県民生活を実現するため、下水道・公園を始めとする生活環境の整備、さらには平成六年の「わかしやち国体」開催に向けて、県民総スポーツの一層の振興などを図ってまいります。そして、文化の振興につきましては、愛知芸術文化センターが十月にいよいよ完成となります。全国的・国際的レベルでの多彩な芸術文化活動を展開する大規模施設として活用し、愛知の文化が大きく花開くよう積極的な事業展開や様々な活動の支援に努めてまいります。

一方、産業経済のグローバル化が進む中で、わが国第一の工業県という特色を活かし、世界的な産業技術首都形成をめざしてまいります。とりわけ、その基盤として不可欠な中部新国際空港をはじめ、第二東名・名神自動車道、リニア中央新幹線など交通網の一体的な整備を二十一世紀初頭までに実現するため、一層力を注いでまいります。

そして、さらに、世界との結びつきを強める大きな契機とするため、二〇〇五年の万国博覧会開催に向け、基本構想の検討や国内外へのPRなど取り組みを強化してまいります。

まちの特派員だより

地域の話題を紹介していただく「まちの特派員だより」今号は、宅地化などで変容の著しい小豆坂古戦場跡と、熱気あふれる細川学区の芸能祭を紹介してもらいます。

小豆坂古戦場跡

竜南ブロッック
神尾昌夫 さん(緑丘3丁目)

時は天文十一年(一五四二年)八月、浜松に居城する今川義元は、四万の軍勢を率いて西三河に攻め入ろうとしていた。片やこれを迎え討とうと、織田信秀(信長の父)は、わずか四千の兵を率いて上和田に陣を敷いていた。

八月十日、両軍は小豆坂で激突した。戦況は織田軍の優勢に終始したが、翌年三月、軍は再びこの地で戦った。以後、尾張の織田と駿河の今川の対立は、桶狭間の戦いまで続くことになる。つまりこの合戦は、天下統一のさきがけともいえる戦いであった。二度にわたり激しい戦いのあったこの場所は、雨が降ると合戦で死んだ人々の血がしみ込んだ土が、小豆色に染まっ

て流れだすことから「小豆坂」という名前がついたとか。
名鉄男川駅より県道衣浦線を南へ七百ほど行き、光ヶ丘女

神尾昌夫 さん(緑丘3丁目)

子高校を過ぎると、道はすぐ二手に分かれ、その辺りから、松の木立のあるなどらかな丘陵地帯が広がる。これより南方一帯が、四百五十年前に、つわものどもが天下統一を夢見て戦った「小豆坂古戦場」跡である。以前は、松の木立に覆われた起伏の多い丘陵地帯であったのだが、宅地化や道路開発が進み、今ではすっかり変容してしまっている。大正時代に建てられた小豆坂古戦場碑すら、現在は移動されて、往時をしのぶ手がかりもなくなってしまう。



腕くらべのどくらべ芸能祭

新香山ブロッック
藤嶋歳夫 さん(細川町)

初冬の十一月十七日、カメラ片手に体育館へ。今日は第四回細川学区芸能祭です。風は冷たく、色づいた木の葉が運動場を舞っています。会場に一歩足を踏み入れ、熱気を感じました。ユーモアたっぷりの司会や、カラオケ、詩吟、ジャズダンス、モダンダンス、日本舞踊、大正琴、謡曲、民謡など、十種目以上にも及ぶ熱演に観客から花束のプレゼントありと、和やかな雰囲気の中にプログラムは進みました。午前の部、午後の部合わせて百三十人あまりが、日ごろの練習の成果を持ち時間いっぱい発表していました。

この会の始まりはと役員さんに聞いたところ、個々にいろいろ習い事をしてるが、どこか一同に会って発表できる場所がほしいという希望が多かったので、このような企画を立て、会場探しをし、社教の応援も得

て始まったということです。参加者募集の看板作成など、準備は大変ですが、皆さんが喜んで発表してくだされれば疲れもとれますと言っておられました。日本人はとかく余暇の過ごし方が下手だと言われます。でも、今日この芸能祭に出場されている皆さんは、うまく時間を使い、生き生きと人生を送っておられるように見えました。五回大会に向け、さらに磨きをかけ、すばらしい発表ができるよう願って、会場を後にしました。





家康寸話



1

今年は郷土の英傑家康が生まれてから四百五十年目にあたり、全市を挙げていろいろな催しが企画されている。

家康は、天文十一（一五四二）年十二月二十六日壬寅の寅刻（午前四時）に、岡崎城内二の丸の産屋で出生した。産湯の水は現岡崎公園内の産湯の井の水を使い、また松平城址（豊田市）に残る産湯の井の水も運ばれて使われたとも伝えられる。父は松平八代広忠（十七歳）、母は於大の方（十五歳）であった。毎年四月の華麗な家康行列におけ

竹千代（家康）の出生

家康生誕四百五十年

る、市内小学生の「寅童子行列」は、家康が寅年・寅刻に生まれたことによる。

誕生の時、石川清兼（姫小川城）が墓目の役（邪悪をはらう矢を引く）、酒井正親（家老職）が胞刀を奉り、大浜称名寺（碧南市）住持其阿が、先例により、祖父・父と同じ「竹千代」と命名した。作家山岡荘八氏の大作『徳川家康』の冒頭「出生乱離の巻―暁以前」に、「武田信玄は二十一歳、上杉謙信は十二歳、織田信長は八歳、後の平民太閤豊臣秀吉はしなびた垢面の六歳

の小童だった。この年天文十年一衣帯水の海の彼方は明の時代、ヨーロッパでは…（中略）西も東もおなじ戦国の風雲にまつまれた十六世紀中葉の、わが三州岡崎の城の奥であった」と、まことに短い文ながら、家康出生のころの波乱に富んだ時代を世界的視野で綴っている。

「過去に目を閉じているものは、未来も盲目である」という名言をふまえ、十二回にわたって、家康の重くて遠い道の一端を寸描してまいります。

岡崎市史編さん事務局 岩月栄治



▶産湯の井戸（岡崎公園内）



219

家康の治世に学ぶ・四百五十年

市長 中根鎮夫

私は某テレビ局の朝番組、竹村健一氏とゲストによる「世相を切る」という放談をよく見る。「学者や評論家は言いたいことを言ってお金になるからいいなあ」とうらやましく思う反面、勉強になることも多い。

以前、某大学教授との放談で話が徳川時代の治世に及んだことがある。彼らは「徳川幕府の鎖国政策をうんぬん言う人がいるがこれは当たっていない」と言う。なぜなら「二十一世紀になり宇宙旅行が頻繁に行われるようになれば、今、地球上で行っている交流などは、鎖国に映るだろう」と述べている。また、家康や歴代将軍とそれを支えた三河武士団の偉大さについて、大名の築城や鉄砲等の軍備を制限して泰平の世を築いたり、各藩に応分の負担をさせて今に残る木曾三川の治水工事や日光東照宮などの国家事業を遂行したことを挙げている。そして、参勤交代にしても各藩の出費を促し、農民や商人に潤いをもたらしたと言及し、徳川三百年の治世は、今にして素晴らしい行政であったと結論付けている。

明治維新以後、多くの論客が公正な視点で見ることが忘れてしまい、徳川をこき降ろさなければ新時代が開けないと錯覚し、誹謗してきた嫌いがある。今の民主主義は三権分立で実現している。これはあらゆる権力を掌握して悪政の限りをつくら取ったものである。ところが、徳川治世では、官位を授ける権能は天皇にあったし、経済力は商人が握っていた。幕府は治安を担当したに過ぎない。

このように思考を巡らしていくと、家康と三河武士団によって確立した徳川治世について、今にして見習うべきものが多い。本年は「徳川家康公生誕四百五十年」である。郷土の偉人家康に学びながら、大きな夢をもつて平成四年を考えてみたい。



山本守正さん
(29歳・材木町)



Q 乙川大噴水、見られないことがあるのが残念です。

岡崎城を背景にして噴き上げる大噴水は、市民として自慢のできる景観の一つですが、上がっている時が少ないように思います。どうなっているのでしょうか。

A 冬季は原則として止めています。

三十五メートルの高さに噴き上げる中央噴水を挟んで左右から直径五十メートルのアーチを描き雄大な景観をつくりだすとともに、河川浄化という実用的な機能を持った日本一の河川噴水です。

皆さんが大変親しんでいただいています。大量の水を噴き上げるので、強風の折などは風下の皆さんにご迷惑をかけます。そこでこの施設は、風速が七メートルを越えると自動的に停止する仕組みになっています。特に、北西の風が強くなる十二月から三月は原則として停止させていただきます。この間に施設の点検・調整などを行なっています。

春・夏・秋には、雄大な景観を一日でも多く楽しんでいただけるよう努力していきます。



土木建設課 岩瀬課長補佐 土木建設課 岩瀬課長補佐

人

全日本学生音楽コンクール
バイオリン部門高校の部1位
加藤瑞木さん
(本宿町・菊里高3年)

十一月に名古屋で開かれた「第四十五回全日本学生音楽コンクール全国大会」のバイオリン部門高校の部で見事一位に輝いた加藤さん。三年前には姉の二葉さんも同コンクールで優勝しており、姉妹で日本一の栄冠を得ました。

現在、名古屋や東京でのコンサートに追われる加藤さんを訪ねてみました。

「兄や姉がバイオリンを習っているのを見て、とても興味を持ちました。初めは母に教えてもらっていましたが、三歳から先生に付いて習い始めました」
バイオリンの楽しさは、
「曲の情景などを自分なりに考え、それを表現できる

したこともあり。気心の分かった姉との演奏はとても楽しいです」

コンクールで優勝して、「夢のようです。小学校のころから何度もこの大会に挑戦してきました。自分ではよく弾けたと思って、人に認めてもらえず、バイオリンをやめたくなくったこともあり。私は全国一位になった姉がいつも目標でしたから、同じコンクールで優勝できてとてもうれしかったです。今後の目標は、

「今はまず、大学入試に合格することが目標です。これからもっと勉強して、将来は聴く人を引きつけられる演奏家か指導者になりたいと思っています」

でも感情移入しやすい楽器です」
姉妹で演奏することは、
「これまで、名古屋や市のせきれいホールでジョイントリサイタルを開きました。また、母校の本宿小学校で一緒に演奏



岡崎の石工業

岡崎の石工業は、茨城県真壁町、香川県庵治町と並んで、全国三大産地の一つに数えられ、岡崎石製品協同組合連合会を中心として、二百五十余の事業所において、全国一の生産量をあげている。



竹内博己さん
(56歳・梅岡町)

昔を語る
岡崎の石工業の歴史は四百年前、時の城主・田中吉政が城下を整備したとき、和泉・河内(現在の大阪)の石工を招いたのが始まりといわれています。

この人たちが、付近から良質の御影石(花崗石)が産出されることから、隋念寺の門前に石屋町(現在の花崗町)をつくり、東海道を往来した参勤交代の大名や旅人たちがこれを買求め、「石都岡崎」の名が知られるようになったようです。

昔の石屋は一階が作業場で、二階が居所になっていました。江戸時代を通して三十軒程でしたが、明治政府の勸業政策により石製品の需要が増大し、梅園・六供・明大寺町方面にも新しい

温故知新

82

ふるきをたずねて…

店がどんどん出来ました。

昔は徒弟制度によって技術を伝承しており、石屋の息子でも別の店で修行するのが習わしでした。私も十九歳の時に故小野信重さんの弟子になりました。朝六時には起床し、まず作業場の隅にあった鍛冶場の火をおこし、その日に使うノミやタタキを修理することから、夜は八時過ぎまで仕事をしました。

最初は石うすなどの簡単なものでも一個仕上げるのに一カ月も掛かりますが、熟練すると一日に一個は作れるようになります。修業を三年した後、お礼奉公を一年して独り立ちの石工になります。今は職業訓練センターにも通わせて技術を教え、石工として必要な資格も取得させています。しかし、難しい彫刻となると十年位の経験が必要です。

私がこの道に入ったころは、すべてが手作業でしたが、昭和三十年代になると機械化されるようになりまし。ところが騒音や場所の問題で機械化が難し

く、郊外に団地を造って移転する話が持ち上がりまし。

故永田清一氏がリーダーになって昭和四十二年に上佐々木町の岡崎石工団地が造成され、昭和五十一年には稲熊町の石製品工場公園団地も完成しました。昔は、製品を店に並べ、買いに来られるお客さんだけで十分でしたが、今では営業活動も欠かせなくなりまし。それと、岡崎の石工業は熟練した技術を駆使した彫刻品の素晴らしさにあります。

今、業界では将来を支えてくれる人材の確保と育成を最大の課題として取り組んでいます。



青年部の手によって、造られた新製品展示場(上佐々木町)

私のイラスト



山口知佐子さん(羽根町)の作品

私のスナップ写真



英利奈(四歳)は、来年から保育園に行きます。妹の若奈(二歳)の面倒をととてもよく見ます。保育園が家の前なのでとても助かります。私たちの家も完成したばかりです。宮本喜美子さん(28歳・緑丘3丁目)

クイズ

問題：家康の父の名は？ 1月15日(必着)

応募方法 はがきに「答」と住所、氏名、年齢、職業を明記のうえ、〒444 市内十王町2丁目9番地岡崎市役所広報課広報係まで。はがきは一人一葉とし、正解者の5名のかたに記念品を贈呈。

前号(12月1日号)の答 「セーフティ愛知90日」

応募総数は49人で、抽選の結果、山本エツ(大西町)、前沼義一(岡町)、千葉貴子(橋目町)、白山ゆき美(六名新町)、山本八千代(洞町)の皆さんに記念品をお送りします。

お知らせ

催し講座



市民スキー教室 市民スキー大会

体育協会 ☎ 53-7644

期日 スキー教室 2月8日
(土)・9日(日) スキー大会 2月
10日(月)

場所 志賀高原一の瀬ダイヤ
モンドスキー場
参加資格 市内在住または在
勤のかた
募集人員 2月7日(金)夜出発
40人、8日(土)夜出発40人
種目 ①男子大回転青年の部

(29歳以下) ②同壮年の部(30

歳代の部・40歳代の部・50歳以
上の部) ③女子大回転 ④事

業所別対抗(1チーム3人)

大会参加料 個人：二千円、

事業所対抗：1チーム二千円

費用 7日(金)夜出発11日(祝)夜

帰着(3泊6食)三万九千円、

8日(土)夜出発11日(祝)夜帰着(2

泊4食)三万三千円(いずれも

大会参加料を含む)

申込方法 市内スポーツ店な

どに用意してある規定の申込用

紙で申し込み(先着順)。

申込期限 1月20日(出)

問合せ先 岡崎スキー連盟

市川武広 ☎ 21-3338

妊婦教室

「おばあちゃんと一緒 に子育て勉強会」

保健課健康管理係 ☎ 23-6084

日時 1月31日(金) 午後1時
30分～3時30分(受付 午後1
時～1時30分)

場所 岡崎市保健センター

対象 初孫を迎えるおばあち
やんと妊婦さん同伴

内容 講話 ①母乳育児の方

法 ②赤ちゃんの衣類、実技

(赤ちゃんのお風呂の入れ方)

講師 助産婦 石原一江氏

申込方法 あらかじめ電話で

保健課健康管理係まで。

※ 母子健康手帳をお持ちのか

たは、ご持参ください。

第23回岡崎洋ラン展

公園緑地課管理係 ☎ 23-6257

岡崎ラン友会では、カトレア、
シンビジウム、パフィオオペ
イラムなどの洋ランの展示即売
会を開催します。また、栽培の
技術指導も行います。

期間 1月23日(木)～28日(火)

場所 松坂屋岡崎店5階

「私たちの川」図画作品展

企画課企画係 ☎ 23-6030

矢作川流域開発研究会の設立
20周年を記念して、矢作川流域
の小中学生が矢作川を描いた図
画作品を展示します。

日時 1月10日(金)～15日(祝)

午前8時30分～午後5時
場所 市役所市民ロビー

成人式のご案内

■日時 1月15日(祝) 午前11時
(受付…午前10時30分から)

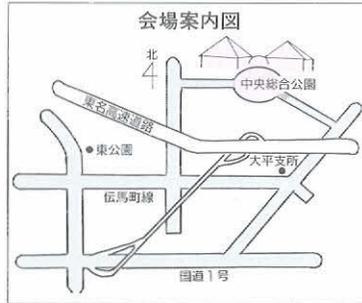
■場所 中央総合公園内「総合体育館」

■対象者 昭和46年4月2日～昭和47年4月1日まで
に生まれたかたで、1月15日現在、市内に
お住まいのかた

■その他 (1)参加されるかたは、当日会場へ成人式案
内状をお持ちください。なお、案内状は、
平成3年12月1日現在で岡崎市の住民基本
台帳に登録されているかたへ郵送してあり
ます。以後転入されたかたは、当日会場
でお申し出ください。
(2)なるべく平服でご参加ください。
(3)ご家族は会場2階へ入場できます。

※ 名鉄東岡崎駅と会場(総合体育館)を結ぶ臨時バ
ス(有料)が運行されますので、ご利用ください。

青少年婦人課庶務係 ☎ 23-6434



<臨時バス>

行き 名鉄東岡崎駅(⑧番バス乗り場)発
9:30発、9:45発、10:00発

●途中停車するバス停
康生町、笹田公園前、中伝馬

帰り 会場(総合体育館)発
12:30発

募集

市立岡崎病院 看護職員募集

市立岡崎病院庶務課
☎22-18525

職種 保健婦・助産婦・看護婦・准看護婦

対象 ①各種免許をお持ちのかた ②平成4年3月に各種養成所を卒業見込みのかた

募集人員 20人程度

募集期限 2月29日(土)

選考内容 面接、書類審査、健康診断

申込方法 ①のかたは履歴書と免許証の写し ②のかたは履

新年交礼会の会場変更

1月1日の新年交礼会は、中央総合公園内の「武道館」で行います。

【日時】 1月1日 午前10時30分

◆当日は、名鉄東岡崎駅と会場(武道館)を結ぶ臨時バス(有料)が運行されます。詳しくは、市政だより12月15日号をご覧ください。

秘書課庶務係 ☎23-6009
岡崎商工会議所 ☎53-6161

1月後期

粗大ごみと使用済み乾電池の収集

中央クリーンセンター☎22-1153

- 各町で決められた粗大ごみ持ち寄り場所へ、収集日の午前8時30分までに持ち出してください。
- <出してはいけないごみ>
事業系ごみ、農機具、タイヤ、バッテリー、プロパンボンベなどの危険物

収集日	収集町名
16日(木)	昭和、島坂、上佐々木、下佐々木、東牧内、肥後原団地
17日(金)	渡上、渡下、西本郷
18日(土)	中園、触越ユニチカ
20日(月)	東大友、触越、森越
21日(火)	橋目本町、橋目中町
22日(水)	宇頭、西大友
23日(木)	北野、小針
24日(金)	細川、仁木団地
25日(土)	東阿知和、西阿知和、東蔵前北
27日(月)	桑原、北斗台北
28日(火)	奥山田、北斗台南
29日(水)	仁木、岩津天神
30日(木)	ハッ木、岩津
31日(金)	東蔵前南、西蔵前、真福寺、恵田、丹坂、駒立、仁木川越

履歴書と卒業見込証明書、〒444市内若宮町二丁目二番地 市立岡崎病院庶務課まで郵送、または直接お持ちください。

相談・手続き

身体障害者巡回相談

福祉課障害係☎23-6154

相談科目 整形外科・眼科・耳鼻咽喉科

内容 身体障害者手帳の交付の判定と補装具相談

日時 1月28日(火) ▼受付11時～12時

▼診断及び補装具相談：午後1時～2時

時々3時
場所 福祉の村友愛の家
申込み あらかじめ係へ電話予約。当日は受け付けません。

老人医療の一部負担金の額が変わりました

援護助成課医療助成係
☎23-6148

老人保健法の改正によって、平成4年1月1日から、一部負担金(医療費の一部として負担する費用)の額が変わりました。

■対象 老人保健法及び老人医療助成によって医療を受けたかた

入院	外来
1日につき六百円 (改正前 四百円)	月に1回 九百円 (改正前 八百円)

事業用資産をお持ちのかたへ

資産税課償却資産係
☎23-6094

あなたの事業に使われている機械、工具、備品などは、事業用償却資産として申告されていますか。

償却資産の所有者は、資産の多少、異動の有無にかかわらず、毎年1月1日現在における資産の状況などを、1月31日までに申告していただくことになっています。

申告用紙のないかた、または申告書の記載方法のわからないかたは、お気軽にお尋ねください。※ 申告書の提出期限は、1月31日(金)までですが、月末は受付が混雑します。なるべく20日(月)までに提出してください。

消防出初式



新春を迎え、防災の決意も新たに、消防出初式を行います。

■日時/1月12日(日) 午前10時

■場所/殿橋下流乙川河川敷(天候などにより現地で実施できない場合は、市民会館に変更)

※ 当日、午前8時に消防団員の招集信号を鳴らします。火災と間違えないようにしてください。

サイレン信号 ● 15秒 6秒 15秒
打鐘信号 ● ● ● ● ● 1点と3点の斑打

消防本部消防課☎21-5151

交通安全標語優秀作品の発表

交通安全課交通安全係 ☎23-6238

昨年、秋に募集したところ、139人311点の応募があり、優秀作品が決まりました。

▲最優秀賞▼

とび出しは 事故につながる 第一歩 山本真理子さん (大西町)
シートベルトと 心のベルト しつかり締めて ゆとりの運転 中根 銀一さん (滝町)

元気で出勤 無事帰宅 愛する家族の スマイルマーク 大山 里美さん (奥殿町)

▲優秀賞▼

暴走に 散るな散らすな 若い春 神谷 国朝さん (不吹町)
優しさと マナーで築く 交通安全 滝川 善治さん (橋目町)

交差点 ゆずる気持ちと 待つゆとり 待つて安心 守つて安全 市川かずみさん (橋目町)

▲佳作▼ 奥居志津枝さん (土井町)、吉橋祐美さん (竜美南)、宮田義弘さん (大西町)、島元伸一さん (日名北町)、山田高司さん (中園町)

「おかざき世界子ども美術博物館」の臨時休館日

■臨時休館日：1月17日(金)、18日(土)

☎53-3511

岡崎市の人口

1991年12月1日現在

男	156,814人	241人増
女	156,392人	216人増
計	313,206人	457人増
世帯数	100,999世帯	276世帯増

献血にご協力ください

岡崎地区献血推進協議会
事務局 援助助成課 援護係
☎23-6145

献血日程

月日(曜)	時間	場所
1月7日(火)	9:00~15:00	岡崎市役所
8日(水)	10:00~15:30	市立岡崎病院
17日(金)	10:00~15:00	農協矢作支店
18日(土)	10:00~15:00	エルエル岡崎店

岡崎献血ルーム

(シビコ5階 ☎25-6844)

- ・受付時間 10:00~12:30、14:00~17:30 (成分献血は10:00~12:00、14:00~16:30)
- ・休日 毎週木曜日、12/29~1/3

テレホンサービス

市政だより ☎21-1111

市からのお知らせ、行事案内
(毎週月曜日変更)

保健だより ☎21-1112

休日緊急当直医、検診のお知らせ、
健康一口メモ (毎週月曜日変更)

子どものおはなし ☎21-1113

創作童話 1月1日~15日
「風の子ふう太とタコあげ大会」
作者 本田佐智子さん (美合町)
岡崎の昔話 1月16日~31日
「若松町の金佛」

心の電話おかざき ☎22-0783

小中学生とその保護者のかたの悩み
ごと (月~土: 13:30~20:30)

Ch 21 パブリックチャンネル CATVミクスでご覧ください

1月1日(水)		2日(木)~5日(日) (6日の午後5時台までを含む)	
10:00	新春特別番組「市長と語る 香り豊かなまちづくり」 出演者：上原欽二氏、長谷川栄氏、中根銀一岡崎市長	15:00	「いきいき/おかざきピープル」(再放送) 2日=市長杯バレーボール大会、3日=商業近代化パネルディスカッション①、4日=同②、5日=岡崎のハーモニー①、6日=同②
12:00		16:00	
●その他の時間帯の「パブリックチャンネル」は、年末にお送りした昨年のニュース(分野ごと)を日替わりで放送します。			
6日(月)~10日(金)		11日(土)	
18:30	まちの話題 毎日のニュース	18:30	まちの話題ウィークリー 1週間のニュース
18:50	市民便利帳 健康料理教室 お知らせ	19:00	市民便利帳 健康料理教室 岡崎観光文化百選 滑信寺 お知らせ
13日(月)~17日(金)		18日(土)	
18:30	まちの話題 毎日のニュース	18:30	まちの話題ウィークリー 1週間のニュース
18:50	市民便利帳 盲人ガイド講座 お知らせ	19:00	市民便利帳 盲人ガイド講座 岡崎観光文化百選 土呂八幡宮・土上八幡宮 お知らせ
		12日(日)	
		いきいき/おかざきピープル ※ 学区交歓ソフトミニバレーボール大会①	
		19日(日)	
		いきいき/おかざきピープル ※ 学区交歓ソフトミニバレーボール大会②	
※の番組(日曜日の番組)は、14:00~15:00と18:00~19:00の2回放送。10:00~11:00に前週分を再放送。11時台、12時台、15時台、16時台及び19時台は土曜日分の再放送。			

■月曜日~土曜日は、18時台から新しい内容になります。また、19時台と 広報課情報調整係 翌日10時台~12時台及び14時台~16時台に繰り返し再放送しています。 ☎23-6007
■都合により番組の内容を変更する場合があります。

ファックス 119番

聴覚や言語などに障害のあるかたが、火災や救急の災害発生時に通報する手段として、無料で通報できる「ファックス119番」を設置しました。

火災が発生したり、救急車が必要な災害発生時の通報にご利用ください。

■ファックス119番の番号

☎0120-295-119

※この番号はフリーダイヤル(無料)です。

消防本部

☎21-5151

お願い

- (1)あらかじめ「ファックス119番通報用紙」をご用意ください。用紙は、福祉課にありますので、ご利用ください。
- (2)用紙の中に、事前にあなたの住所、氏名、大きな目標物、ファックス番号などを必ず記入しておいてください。
- (3)通報を受けた消防署では、「消防車」または「救急車」が向かっている旨を送信します。もし送信が届かない場合は、もう一度通報しなおしてください。

ご利用ください。



1月から巡回稼働

空き缶プレスカー



平成2年中に市が収集した不燃ごみ15,561トンのうち、空き缶は2,941トン（18.9%）もありました。これらは再利用されることなく埋め立てられています。

そこで市では、皆さんの資源回収を応援し、資源の再利用や埋め立て地の延命を図ろうと、空き缶をスチール缶とアルミ缶に分けてプレスする「空き缶プレスカー」を導入しました。ご利用ください。

●対象：団体で1カ所あたりおおむね1,000個以上回収したもの ●利用日時：日曜日、祝日、第2・4土曜日及び年末年始を除く午前9時から午後4時まで（ただし、土曜日は午前9時から午前11時30分） ●申し込み先：衛生課庶務係 ☎23-6207



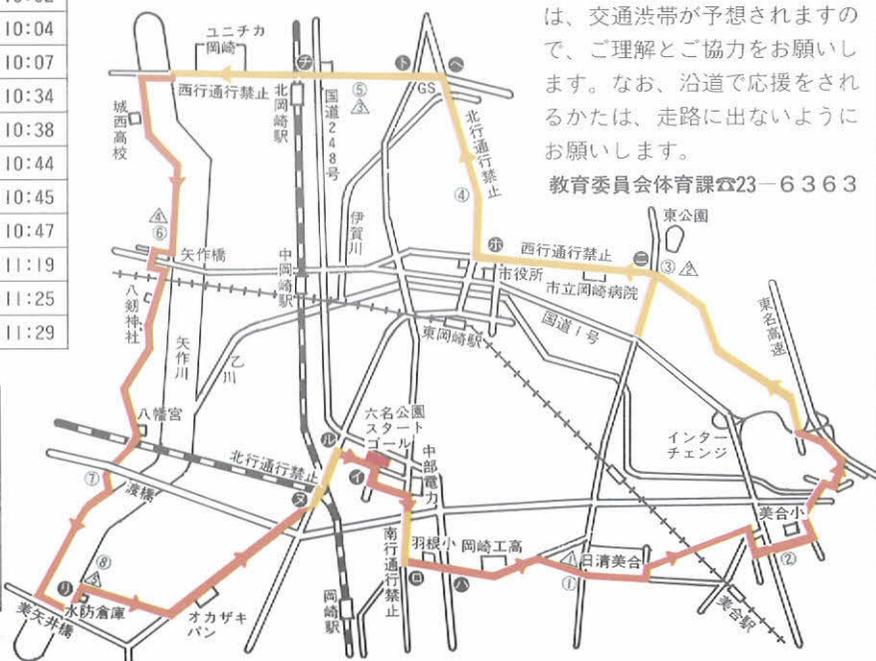
市民駅伝競走大会

1/26日10:00六名公園運動場スタート

おもな交差点通過予定時刻

イ	戸崎新町信号交差点	10:02
ロ	羽根信号交差点	10:04
ハ	出光GS信号交差点	10:07
ニ	東公園南信号交差点	10:34
ホ	備前屋前信号交差点	10:38
ヘ	石神信号交差点	10:44
ト	伊賀町信号交差点	10:45
チ	葵町信号交差点	10:47
リ	美矢井橋東	11:19
ヌ	天白南信号交差点	11:25
ル	体育館西信号交差点	11:29

交通規制のお知らせ



駅伝大会当日、図のように交通規制を行います。各交差点では、交通渋滞が予想されますので、ご理解とご協力をお願いします。なお、沿道で応援をされるかたは、走路に出ないようにお願いします。

教育委員会体育課 ☎23-6363

- 全面通行禁止
 - 走行片側通行禁止
- ※進路を変更する交差点では、短時間全面通行禁止となることがあります。
- …中学校の部中継所
 - …一般・高校の部中継所

ストップ・ザ・交通事故 高めようモラル 守ろうルール

■編集と発行 岡崎市市長公室広報課 〒444 岡崎市十王町2丁目9番地 ☎(0564)23-6033